



## 令和元年度 JCCG 総会

～小児がんの子どもたちとともに5年目の歩み～



「小児がんの子どもたちのために心をひとつに」を合言葉に2014年に結成された「日本小児がん研究グループ」(JCCG)は5年目を迎え、6月15日国立病院機構名古屋医療センターで、節目となる総会を開催しました。

JCCGは、日本で唯一の、小児がん専門医らがオールジャパンで集まる臨床研究のグループです。病気の種類は多いのにそれぞれの患者数は少ない小児がん。その治療をよりよくするため、JCCGは全国に散らばる専門家の知見を集約し、効率的な研究や治療ができるよう、とりまとめと運営を担っています。全国約200の施設がまるで一つの病院のように協力し合う画期的な取り組みは、ますます軌道に乗り、治療面での成果も上げています。

### 中村 祐輔 Dr. 特別講演

～最先端医療を学ぶ～



総会に先立ち、公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療研究センター所長の中村祐輔医師による講演「リキッドバイオプシーの現状と課題」が行われ、JCCGの会員約400人が最新の研究に耳を傾けました。

テーマはリキッドバイオプシー。脳腫瘍であれば髄液、頭頸部がんであれば唾液など、患者のリキッド(液体)を使い、がんのスクリーニング・手術後のがん細胞の残存検査・分子標的薬の選択などにつなげていく技術が説明されました。

講演後は質問が相次ぎ、最先端医療を小児がんの治療推進につなげる意欲と期待の大きさがうかがえました。

### ゼロから築いた JCCG

～さらなる前進を～



総会では、北海道や九州、全国各地から集まった医師らがこれまでの活動や今後の計画について確認し合い、任期を終える役員へのセレモニーも行われました。真新しい全国組織を、各方面に配慮しつつ力強くリードしてきた水谷修紀理事長と福澤正洋副理事長に、感謝の言葉と花束が贈られました。



水谷修紀理事長へ  
滝田順子医師から



組織の成長を語る水谷理事長



福澤正洋副理事長へ  
野寄美和子医師から



今後の発展を願う福澤副理事長

水谷理事長は「苦しい時もあったが皆さんと共に進んでこられた。次を担う先生方が本当に頼もしい」と語り、福澤副理事長は「組織の立ち上げから水谷先生の女房役をさせていただいた。今後ますますの発展を確信している」と話しました。

温かい拍手が響く総会のフィナーレとなりました。

